



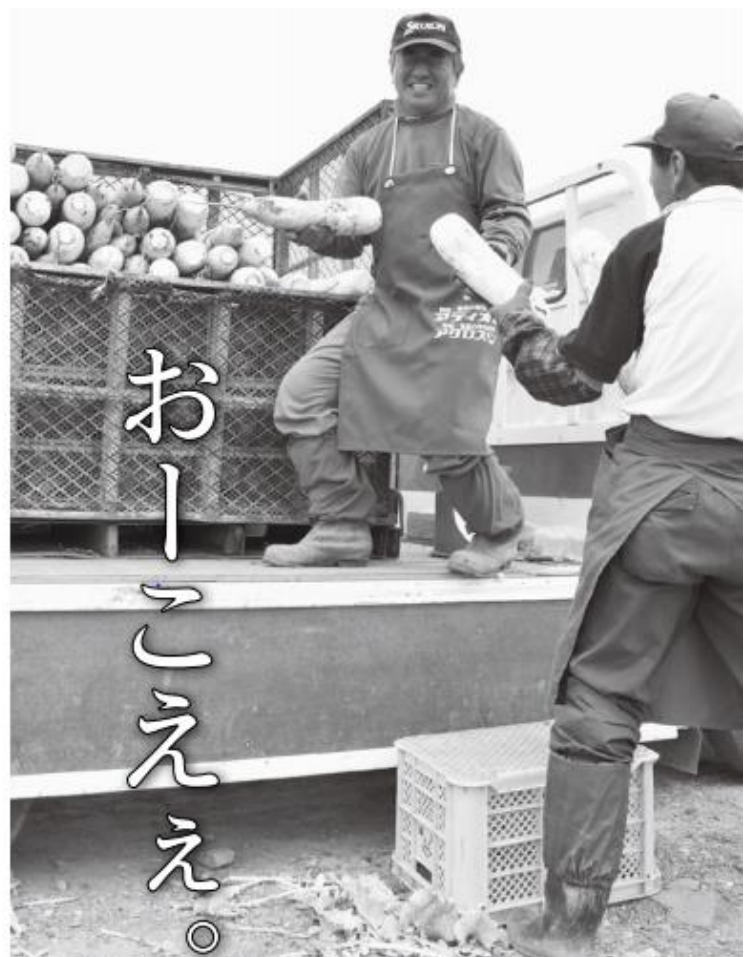
愛すべき銚子弁。
知らない言葉は、
家族や近所のおじ
さんおばさんに発
音を教えてもらい
ましょう。いつの
間にかあなたも便
利な銚子弁のとり
こになるはず。

「じゃみる」=「(墨汁や絵の具が)にじむ」
〔用例〕うまぐ書げでっと思ったあけっどもじゃみでんな



愛すべき銚子弁。
知らない言葉は、
家族や近所のおじ
さんおばさんに発
音を教えてもらい
ましょう。いつの
間にかあなたも便
利な銚子弁のとり
こになるはず。

「こええ」=「疲れる」
〔用例〕今年のでーごはできがいいどおー。だけっど
そのぶんおもでえがらうだでえーだ。おーこええー。
いちんちでこんだけとったあだどおー
協力：岩瀬定雄さん(塚本町)と仕事仲間の皆さん





愛すべき銚子弁。
知らない言葉は、
家族や近所のおじさ
んおばさんに発音を
教えてもらいませう。
いつの間にかあなた
も便利な銚子弁の
とりこになるはず。

「げんちよ」 =
「テレビゲームのカセットの不具合で画面がバグる」
〔用例〕 この面もうちょっとでクリアできそうだったのに
げんちよっちゃったあべえ〜よ〜

投稿：鈴木浩之さん（笠上町）



「しよっぴぐ」 = 「ひっばる」
〔用例〕
かもめがえさばしよっぴぎあってるわ
投稿：宇野澤愛美さん（本城町）



愛すべき銚子弁。
知らない言葉は、家族や近所のおじ
さんおばさんに発音を教えてもらい
ませう。いつの間にかあなたも便
利な銚子弁のとりこになるはず。





愛すべき銚子弁。
知らない言葉は、
家族や近所のおじさ
んおばさんに発音を
教えてもらいましょ
う。いつの間にかあ
なたも便利な銚子弁
のとりこになるはず。

「えさけえっぺ」＝「家に帰ろうよ」

〔用例〕 もうえさけえっぺー

投稿：金島聖美さん（長塚町）



愛すべき銚子弁。
知らない言葉は、
家族や近所のおじさ
んおばさんに発音を
教えてもらいましょ
う。いつの間にかあ
なたも便利な銚子弁
のとりこになるはず。

「こがあとへだみしやぎ」＝「小川戸辺田三崎」

〔用例〕 こがあとへだみしやぎはこっちのみちはいくだーど

投稿：TNさん（市内）

▶大正12年に小畑地区が設置した道標。
小川戸は現在の小川町辺り、辺田は春日町です。



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「かまちく」 = 「かなへび。トカゲの一種」

【用例】 これあんだがわがっか？カマチクっつーだど

投稿：吉原雅樹さん（栄町）



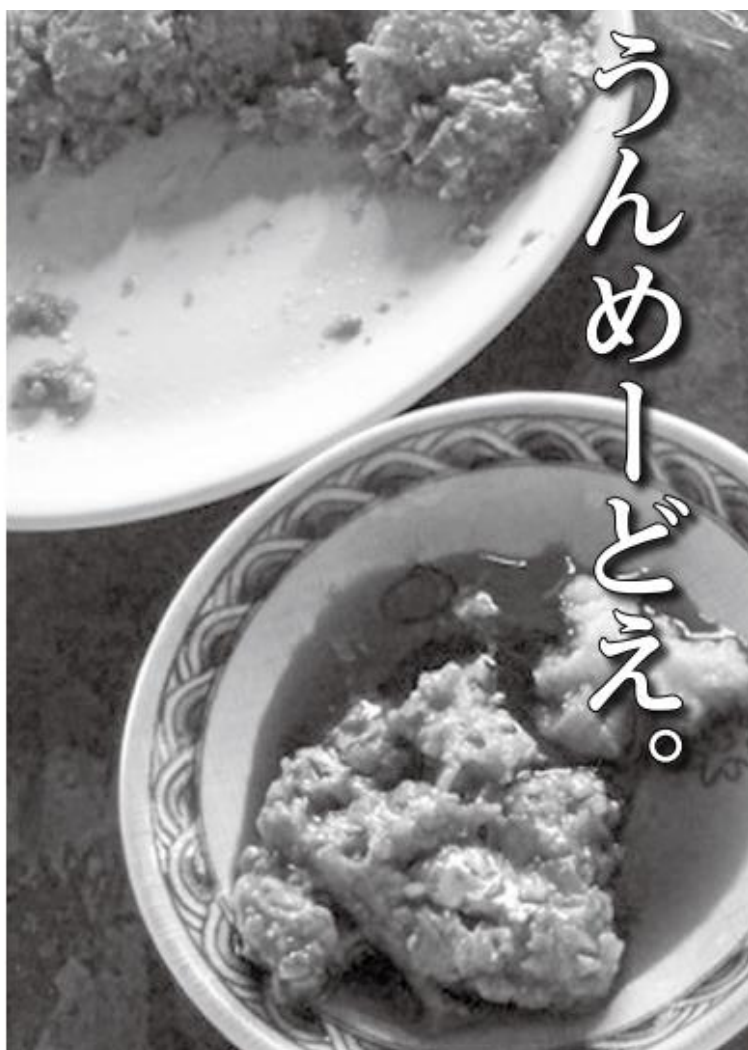
使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「うんめーどえ」 = 「おいしいよ」

【用例】 おらいのばーちゃんがこしらえだ
 さんまのたたきはうんめーどえ

投稿：宇野澤恵さん（市原市）



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「のーほど」 = 「たくさん」

〔用例〕 のーほどくわっせ。

投稿：宇野澤愛美さん（本城町）



のー
 ほど。

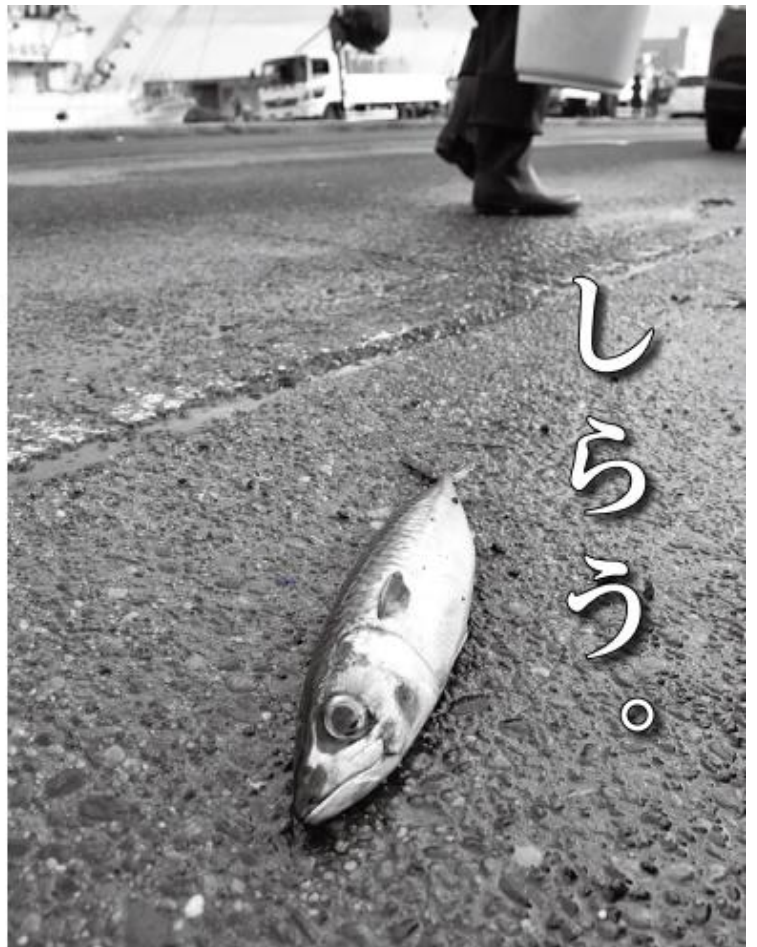
使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「しらう」 = 「拾う」

〔用例〕 誰もしらってくんねーど、
 かんびんたんになっちゃーどえ。

投稿：Sさん（栄町）



しら
 う。



愛すべき銚子弁。
知らない言葉は、
家族や近所のおじさ
んおばさんに発音を
教えてもらいましょ
う。いつの間にかあ
なたも便利な銚子弁
のとりこになるはず。

「おしゃらぐ」 = 「おしゃれ」

〔用例〕 うちのまごがおしゃらぐしてうだってっからみでくんな

▶1月13日日の成人式で合唱を披露したちょうし少年少女合唱団の皆さん。合唱団OGで新成人の島田日花さん(後列左)も参加。晴れの日を添えてくれました。



愛すべき銚子弁。
知らない言葉は、
家族や近所のおじさ
んおばさんに発音を
教えてもらいましょ
う。いつの間にかあ
なたも便利な銚子弁
のとりこになるはず。

「いがい」 = 「大きい」

〔用例〕 あんだこらーこのばふえ！ずいぶんいがいねー

投稿:nanami_74さん

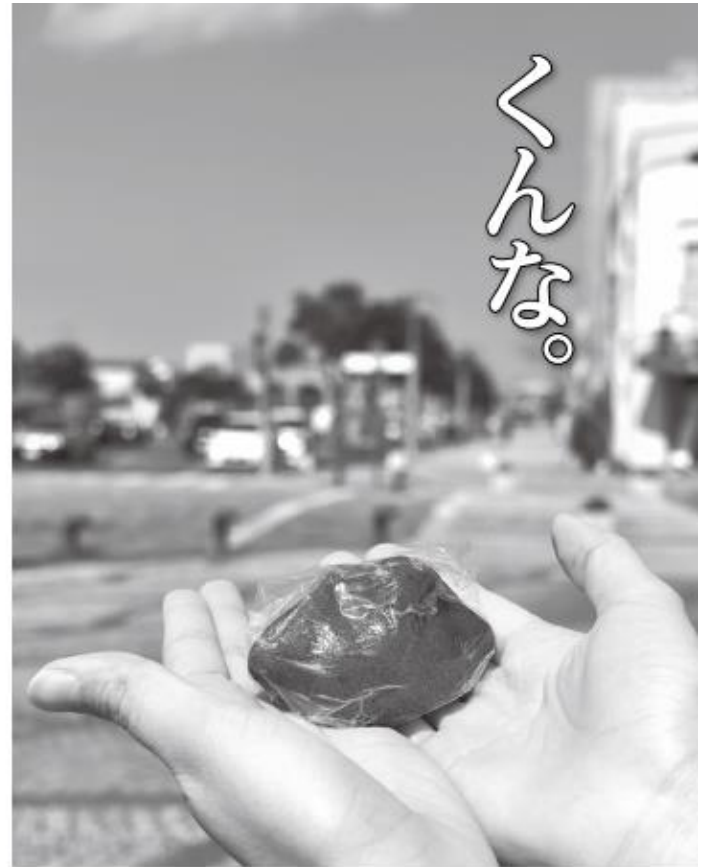




愛すべき銚子弁。
知らない言葉は、
家族や近所のおじさ
んおばさんに発音を
教えてもらいましょ
う。いつの間にかあ
なたも便利な銚子弁
のとりこになるはず。

「くんな」 = 「ちょうだい」

【用例】 おんにもくさもちひとつくんな



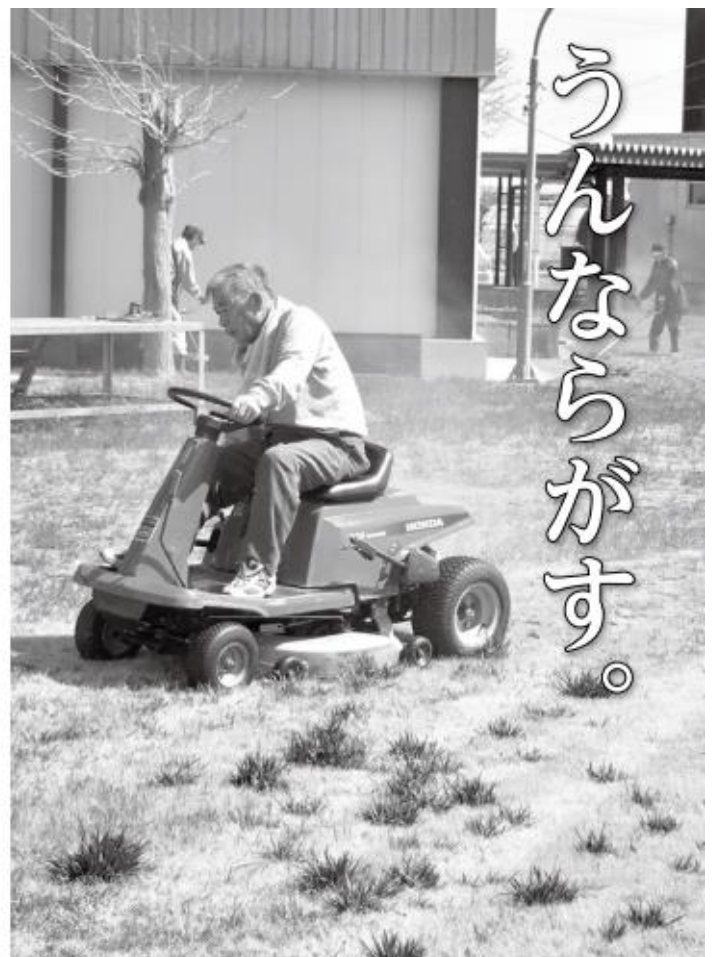
愛すべき銚子弁。
知らない言葉は、
家族や近所のおじさ
んおばさんに発音を
教えてもらいましょ
う。いつの間にかあ
なたも便利な銚子弁
のとりこになるはず。

「うんならがす」 = 「はりきる」

「(乗り物を) 飛ばす」

【用例】 しばかりきばうんならがすどー

協力：猿田小学校愛校会の皆さん





愛すべき銚子弁。
知らない言葉は、
家族や近所のおじさ
んおばさんに発音を
教えてもらいましょ
う。いつの間にかあ
なたも便利な銚子弁
のとりこになるはず。

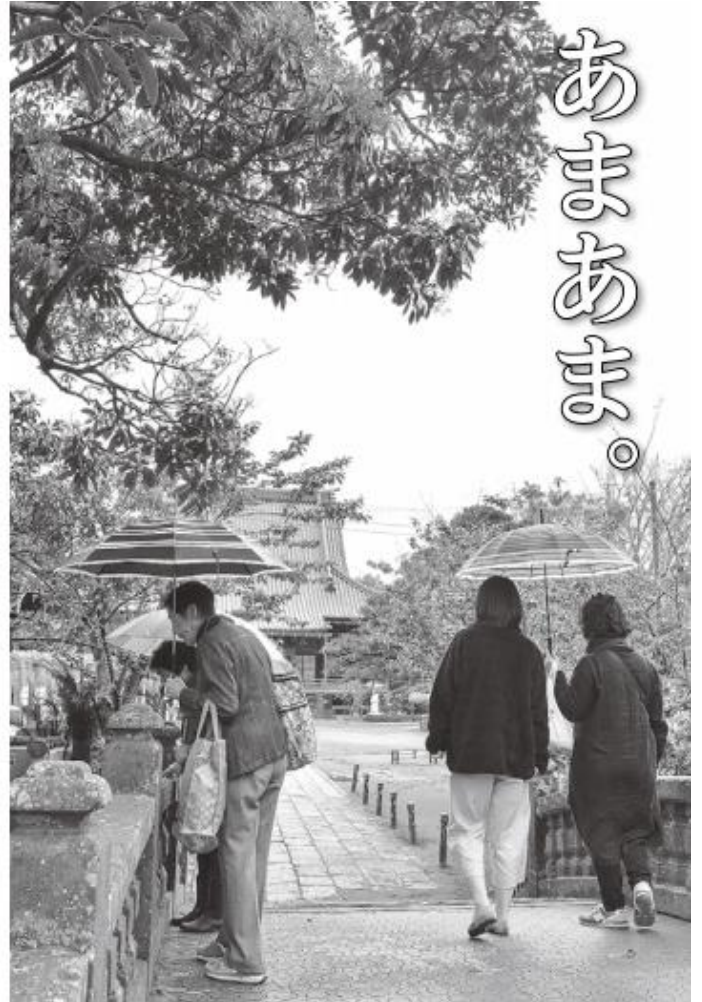
「あまあま」

= 「一日中雨が降ったりやんだりする空模様」

【用例】 庭も藤もきれーだねー。

今日はあまあまだーきっども来ていーがったあね。

▶GW、妙福寺(妙見町)にはたくさんの人が藤見物に訪れていました



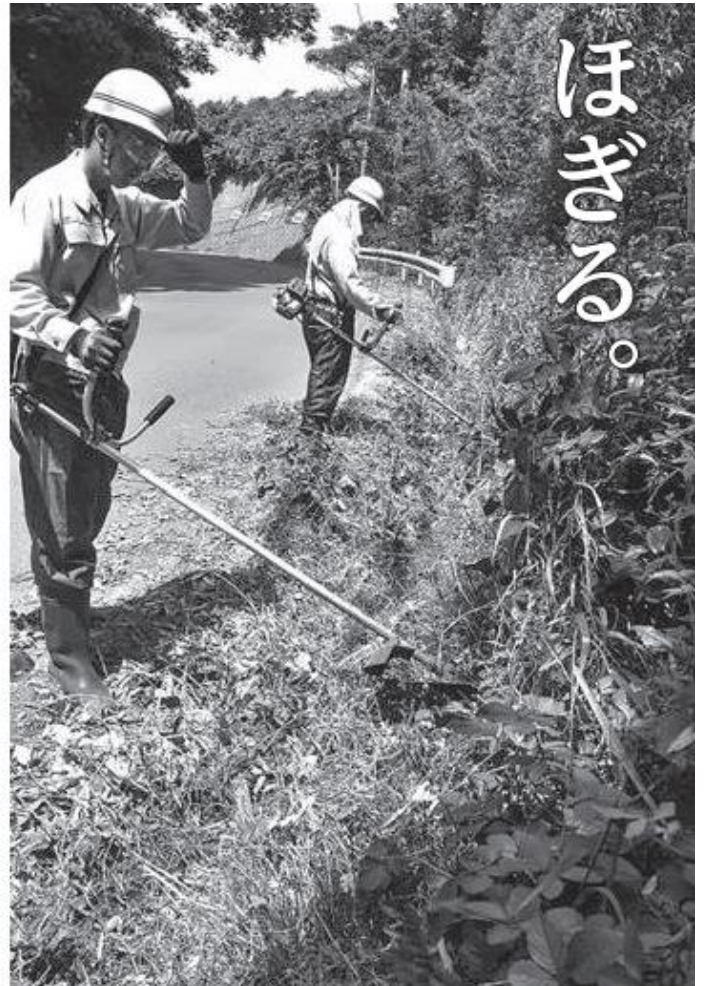
あまあま。



愛すべき銚子弁。
知らない言葉は、
家族や近所のおじさ
んおばさんに発音を
教えてもらいましょ
う。いつの間にかあ
なたも便利な銚子弁
のとりこになるはず。

「ほぎる」 = 「(植物などが) 育つ」

【用例】 おーこえー、このあいだかったばっかしたーのにすく
くさがほぎちゃっしょーねー。



ほぎる。

使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「おっぺす」＝「押す」

〔用例〕 よー！ももばおっぺすでねーよー、
 いだんちゃーべーよー



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「いぎれる」＝「騒ぐ、はしゃぐ」

〔用例〕 まづりのひーばっかしはちょうないらくじゅう
 いぎれっちゃーどえ

▶ 7月27日出森戸町祭礼。青年団長宅で「きったしよーきつ
 たしよーとー」のかけ声とともに盛り上がりは最高潮に。





使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
知らない言葉は、
家族や近所のおじさ
んおばさんに発音を
教えてもらいましょ
う。いつの間にかあ
なたも便利な銚子弁
のとりこになるはず。



がんばっぺー！

▲台風15号直撃を受けて県内中で停電が発生。市内では秋田や相模ナンバーなど全国から集まった多くの作業車両を見かけました。

「がんばっぺー」＝「がんばろう」

〔用例〕

ていでんもだんすいもあとちょっとあとちょっと。
がんばっぺーちば！



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
知らない言葉は、
家族や近所のおじさ
んおばさんに発音を
教えてもらいましょ
う。いつの間にかあ
なたも便利な銚子弁
のとりこになるはず。



くっちい。

「くっちい」＝「腹いっぱい、満腹」

〔用例〕 まんじゅうばくいすぎっちってよー、はらが
くっちくてもうなんもへえんねえ。



愛すべき銚子弁。
知らない言葉は、
家族や近所のおじさ
んおばさんに発音を
教えてもらいましょ
う。いつの間にかあ
なたも便利な銚子弁
のとりこになるはず。

「きたんきたん」＝「ぼろぼろ、おんぼろ」

〔用例〕 このかーてん、きたんきたんだがらとっかえっペーや



愛すべき銚子弁。
知らない言葉は、
家族や近所のおじさ
んおばさんに発音を
教えてもらいましょ
う。いつの間にかあ
なたも便利な銚子弁
のとりこになるはず。

「どんどんかます」＝

「夜分よその家の閉め切った雨戸や戸を叩いて
寝ている家人を呼び起こす」

〔用例〕 いっしょにひなんじよさにげべーどおもって
となりのえさどんどんかます



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「びだげる」 = 「甘える」

【用例】 このねごはよー、すぐびだげったよー



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「うらっぽ」 = 「先端」

【用例】 までこのこーこはうらっぽがうめえだよなあ〜

【類義語】 うらっチャぎ、さぎっぽ



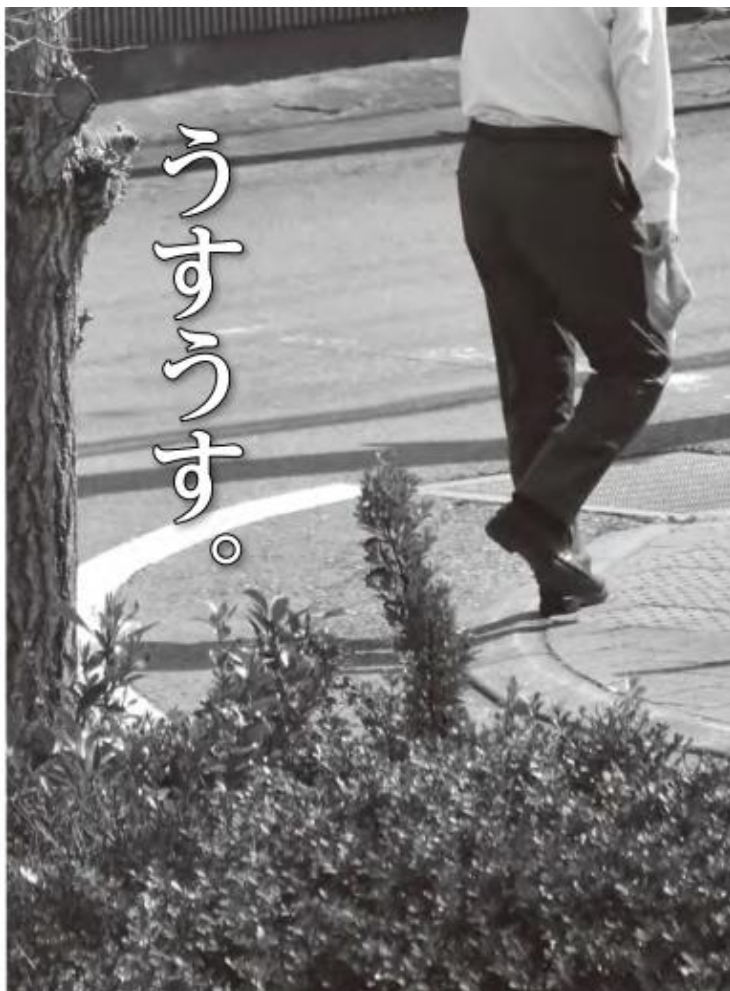
使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「うすうす」 = 「うろうろ」

【用例】 ひるやすみにうすうすあるぐ。

【類義語】 うすかうすか、うそうそ



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「たげぼっぼ」 = 「竹筒」

【用例】 たげぼっぼにはなばさず

【類義語】 たげぼおぼ



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「いっちゃぐ」＝「一緒、一度」

【用例】よー！いっちゃぐにもってだいじょぶがー。
 あぶねーど。おっことすどー



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「かっちゃぐ」＝「ひっかく」

【用例】かにくわれたとこがかいいてかいいて
 かっちゃぎすぎだらかわがむげだ。





愛すべき銚子弁。
知らない言葉は、
家族や近所のおじさ
んおばさんに発音を
教えてもらいましょ
う。いつの間にかあ
なたも便利な銚子弁
のとりこになるはず。

「ぼんばしらけえったら、かっぱにしぎずりこまれっど」
=「盆柱かえったら、カッパに引きずり込まれるよ」

【用例】銚子地方に伝わる気象に関する言い伝え。旧盆が過
ぎたら盆波(土用波)が出て荒れるので、もう泳ぎに
行くな、と子どもにさとすことば。



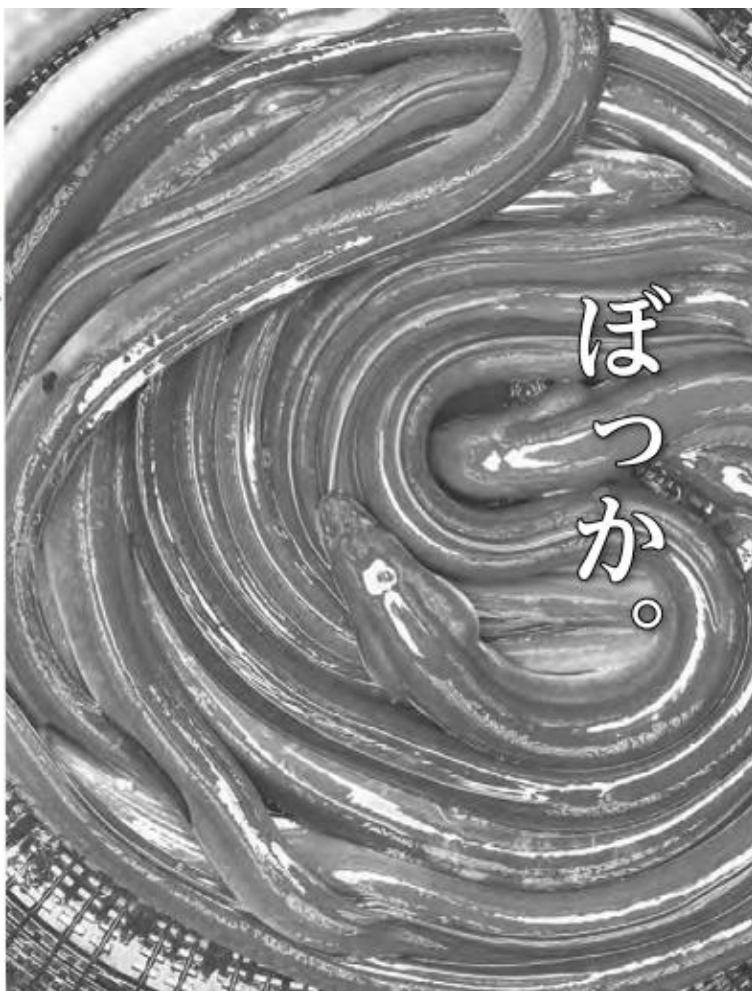
ぼんばしらけえたら、
かっぱにしぎずりこまれっど。



愛すべき銚子弁。
知らない言葉は、
家族や近所のおじさ
んおばさんに発音を
教えてもらいましょ
う。いつの間にかあ
なたも便利な銚子弁
のとりこになるはず。

「ぼっか」=「大ウナギ」

【用例】よお、ぼっかとれだーが？
いねえーよーちっちえのぼっかしだーよー



ぼっか。



愛すべき銚子弁。
知らない言葉は、
家族や近所のおじさ
んおばさんに発音を
教えてもらいましょ
う。いつの間にかあ
なたも便利な銚子弁
のとりこになるはず。

「ぶぐじげねえ」＝「気が利かない」「不器用」
「不格好」

【用例】ぶぐじげねえ手つきでにぎりめしばつくってっどえ
だけっともうまそうにでぎだーねー



愛すべき銚子弁。
知らない言葉は、
家族や近所のおじさ
んおばさんに発音を
教えてもらいましょ
う。いつの間にかあ
なたも便利な銚子弁
のとりこになるはず。

「ぶっちゃげる」＝「壊れる」

【用例】おっことしてぶっちゃげちった





愛すべき銚子弁。
知らない言葉は、
家族や近所のおじさ
んおばさんに発音を
教えてもらいましょ
う。いつの間にかあ
なたも便利な銚子弁
のとりこになるはず。

「すてっぱず」＝「最大」「人目をひくほど大きい」

【用例】すてっぱずなさかなだ



愛すべき銚子弁。
知らない言葉は、
家族や近所のおじさ
んおばさんに発音を
教えてもらいましょ
う。いつの間にかあ
なたも便利な銚子弁
のとりこになるはず。

「おんばけえ」＝「小さい」

【用例】このぶらごみ、おんばけえな

【類義語】こんばけえ

▶海洋プラスチックごみは海の中で分解され、さらに細かい「マイクロプラスチック」になります。海洋プラスチックごみが増えることは海の汚染だけでなく、海の生物や漁業、観光業、私たちの体にまで影響を与えます。

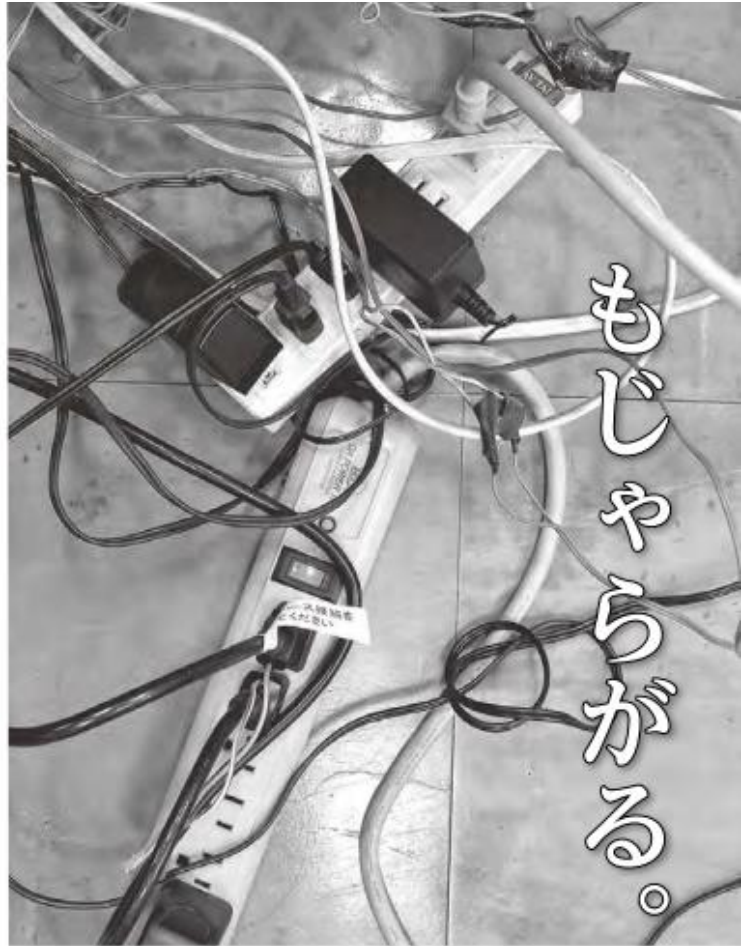


使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「もじゃらがる」＝「糸などがもつれる」

【用例】電気コードばもじゃらがす



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「もじぐ」＝「(木の実などを)ねじるようにしてもぎとる」

【用例】もいでもだめだあよ。すっばくてくえねえど



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「ぬぐだまる」＝「あたたまる」

【用例】ねごがひなたでぬぐだまる



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「が^んが^ん」＝「缶」

【用例】が^んが^んもってきたあど〜

このほかに

「お^おが^んが^ん」＝「た^くさ^ん、む^ちゃ^くち^ゃに」

【用例】きのう、お^おが^んが^んだったーよ



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「わーか」=「ちょっと、少し」

〔用例〕めえ(前)髪ばどんけえ切ったあ？ わーかでいいや！



わーか。

使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「ちゃん」=「父親、おやじ」

〔用例〕よー、わんらーのちゃんいっがやあ？

縁側でスイガくっでるわあ



ちゃん。

使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「ちょおどいいや」=

「失敗した時の自嘲のことば。あちゃー」

[用例] かぁ〜、ちょおどいいや!洗っただのに雨ふってきたどえ



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「あおなじみ」=「内出血して青色になること。あざ」

[用例] うでばぶっつげで、あおなじみこさえちゃったー



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「はまりごむ」=「張り切る」

〔用例〕はまりごんで身体きたえでるわ

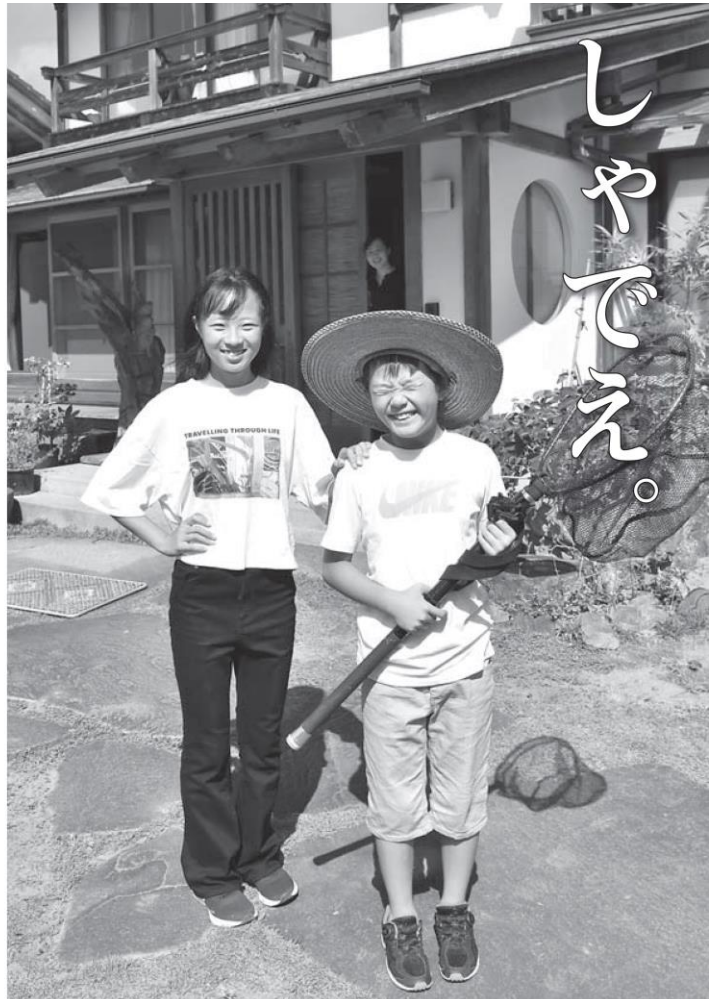


使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「しゃでえ」=「弟。子分」

〔用例〕オライのしゃでえは虫取んのがうめーどえ。



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「ふったがる」=「もえさがる・興奮する」

〔用例〕勝つまでやめねーがんなっ!

あに、ふったがってっだよ



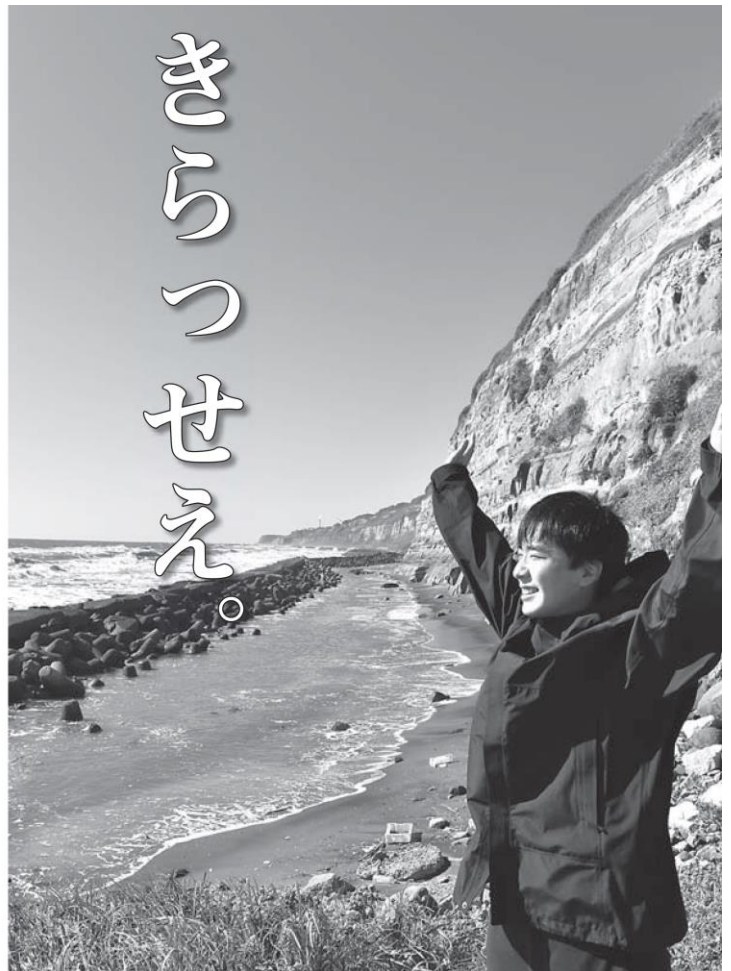
使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「きらっせえ」=「おいでなさい」

〔使用例〕銚子はいいとこだーべえ

まだきらっせえよ!



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「〇〇ぐし」=「〇〇ごと」

[使用例] イワシはあだまぐしくわっせーよ。

(イワシは頭ごと食べなさいよ)



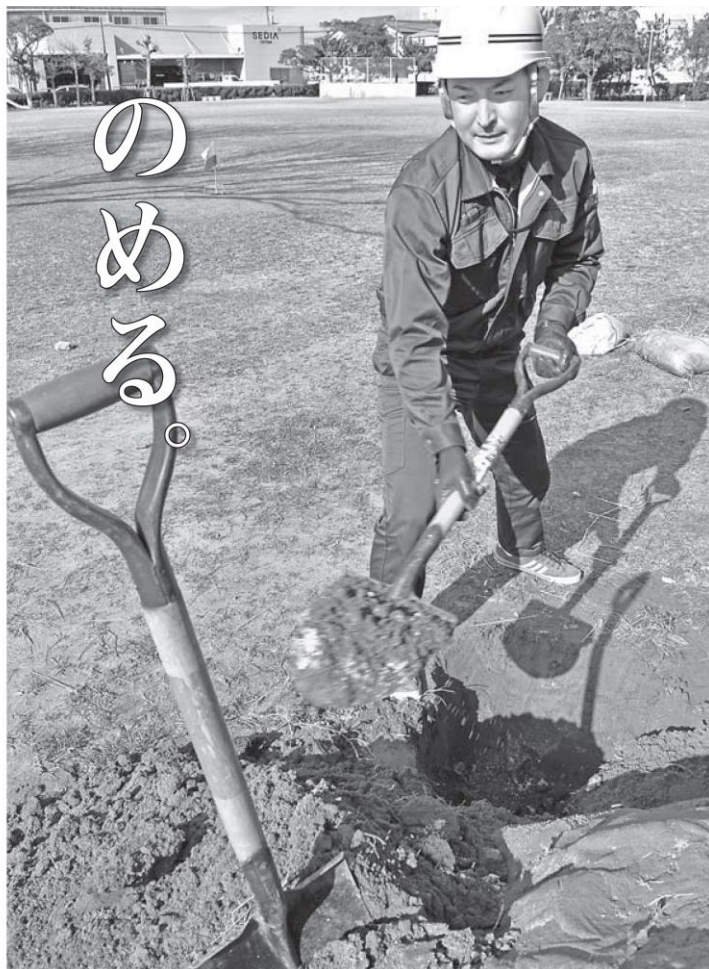
使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「のめる」=「埋める」

[使用例] 穴コバのめどいでくれ

(穴を埋めておいてくれ)



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「びんちょ」=「そろわない」

【使用例】あんだや、手袋がびんちょだったーどえ。



びん
 ちよ。

使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「うだでえ」=「つらい」

【使用例】おおうだでえ。もお登れねーどえ。



う
 だ
 で
 え。

使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「きやり」=「ぎっくり、身体の一部を捻る」

〔使用例〕きやりやっちゃーがら、きーつけらっせえ。

このほかに

「きやり」=「同じくらい、似てる、近い」

〔使用例〕カタツムリはナメクジにきやり。



若宮八幡神社

※画像はイメージです。持ち上げるのはお控えください

使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「べえぼ」=「くぼがい、すがい など」

〔使用例〕べえぼ、いっぺーとれだーよ！

それ、からしべえぼって言うだい。



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
知らない言葉は、
家族や近所のおじさ
んおばさんに発音を
教えてもらいましょ
う。いつの間にかあ
なたも便利な銚子弁
のとりこになるはず。

「かっぺる」=「かぶせる」

〔使用例〕シートば、かっぺえどぐだど
シートをかぶせておくんだよ



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
知らない言葉は、
家族や近所のおじさ
んおばさんに発音を
教えてもらいましょ
う。いつの間にかあ
なたも便利な銚子弁
のとりこになるはず。

「めっける」=「見つける」

〔使用例〕まず、おらいばめっけたど。

＼災害時の状況を知っておこう／
ハザードマップで、最初に自宅を確認！



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「ほぎほぎ」=「たっぷり」

[用例] 大盛、野菜マシマシ、豚マシダブルで!

食欲の秋だがんな。ほぎほぎ食わっせーよ



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「いっちょまわり」=「一巡すること」

[用例] あんだおめえ、大荷物だーなあ!

バーゲンだから、いっちょまわりしてっだよ。



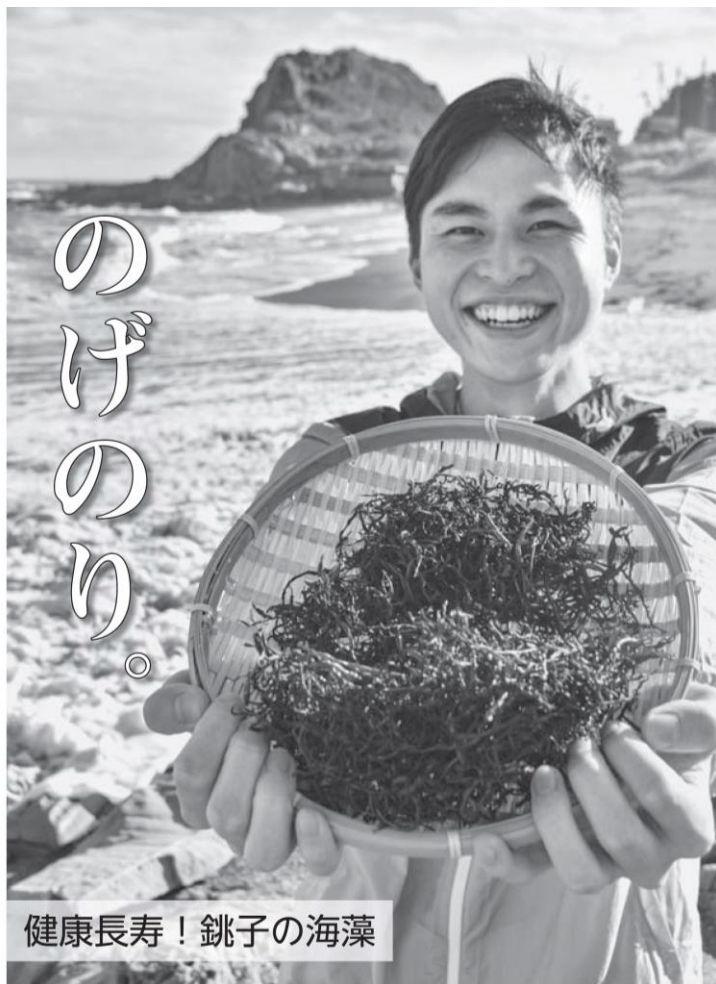


愛すべき銚子弁。
知らない言葉は、
家族や近所のおじさ
んおばさんに発音を
教えてもらいましょ
う。いつの間にかあ
なたも便利な銚子弁
のとりこになるはず。

「のげのり」=「ふくろふのり」

[使用例] のげのりの味噌汁がうめーだよ。

なんとも言えぬ食感と磯の香りが最高



健康長寿！銚子の海藻



愛すべき銚子弁。
知らない言葉は、
家族や近所のおじさ
ん、おばさんに発音を
教えてもらいましょ
う。いつの間にかあ
なたも便利な銚子弁
のとりこになるはず。

「こいで」=「漕出。初出漁船」

[使用例] よー、明日が漕出式らしいぞ！

吉日を選んで、年明けに漕出式が行われる。
川口神社の前を取り舵(左廻り)3回して入港する。



祝 水揚げ量12年連続日本一

使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさん、
 おばさんに発音を
 教えてもらいませう。
 いつの間にかあなたも
 便利な銚子弁のとりこになるはず。

「うでる」=「ゆでる」

[使用例] おーし、今夜は、タゴうでっペーや!



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさん、
 おばさんに発音を
 教えてもらいませう。
 いつの間にかあなたも
 便利な銚子弁のとりこになるはず。

「のぜえる」=「物がつかえる」

[使用例] 桜餅、ゆっくり食わねーど、のぜえっと!

発展活用例 「のぜえるほど」=「たくさん」

＼桜餅を発明したのは銚子の人／

【出典 銚子市史】

現在の東京都墨田区向島にある長命寺の門番をしていた銚子出身の山本新六が享保2年(1717年)に桜の木の葉を醤油樽で塩漬けにして、餅を包んで門前で売り出したのが長命寺桜餅の始まりと言われている。





愛すべき銚子弁。
知らない言葉は、
家族や近所のおじさ
ん、おばさんに発音を
教えてもらいましょ
う。いつの間にかあ
なたも便利な銚子弁
のとりこになるはず。

「うそしこ・うそっこ」=「うそ」

【使用例】ぬれ煎餅卓球大会はじまるらいど！
エイプリルフールのうそしこだっぺ。



4月1日は何の日？



愛すべき銚子弁。
知らない言葉は、
家族や近所のおじさ
ん、おばさんに発音を
教えてもらいましょ
う。いつの間にかあ
なたも便利な銚子弁
のとりこになるはず。

「けえちゃ・うらげえちゃ」=「裏がえし」

【使用例】うらげえちゃーがら、撮んの大変だったーどえ
(裏がえしになるから、撮るのが大変だった)

久々！ 犬吠埼灯台にこいのぼり

▶日時 5月5日(金) 9時～16時

天候次第で中止になることがあります □ 銚子海上保安部 ☎(24)6685



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 ん、おばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「ふっかげる」＝「雨が降りかかる」

このほかに

「ふっかげ」＝「にわか雨」

【使用例】少しおしゃらく。雨がふっかげでもたまげない。



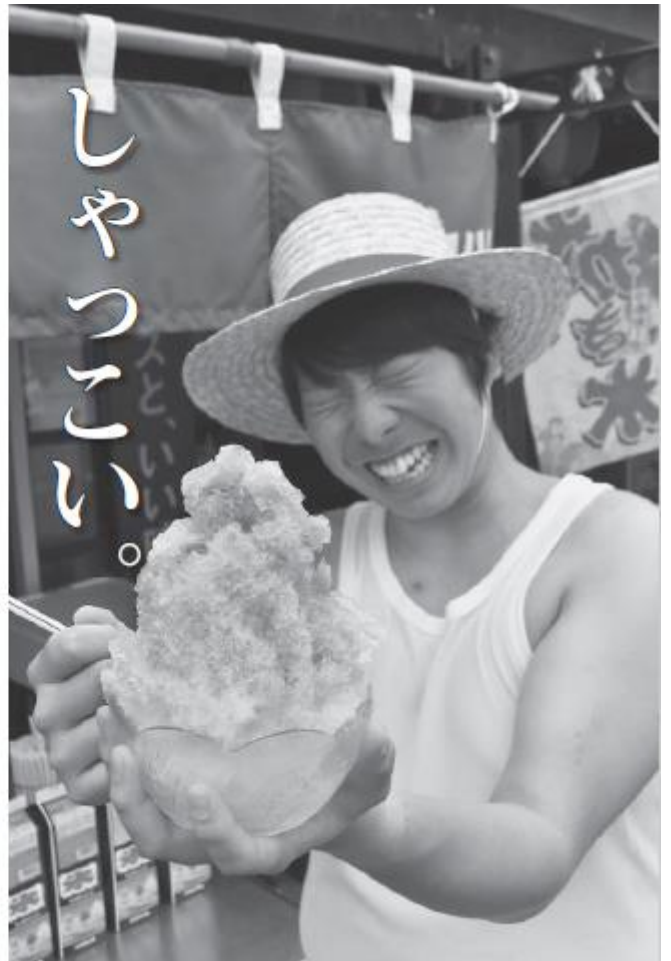
ふっ
 かげる。

使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 ん、おばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「しゃっこい」＝「冷たい」

【使用例】おーしゃっこい！ 頭キーンてすっどえ。



しゃ
 っこい。

使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさん、
 おばさんに発音を
 教えてもらいませう。
 いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「つっぼす」=「つく、つきさす」

〔使用例〕銚子のメロン、楊枝つっぼして食うべや♥



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさん、
 おばさんに発音を
 教えてもらいませう。
 いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「しゃがん」=「左官」

〔使用例〕おらいのおどっあんはシャガンヤさん。

＼左官屋さんって何だろう？／

建設現場で「鏝(コテ)」を使い壁や床の下地、
 仕上げなどを担う職人のことを指します



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
知らない言葉は、
家族や近所のおじさん、おばさんに発音を
教えてもらいましょう。いつの間にかあ
なたも便利な銚子弁
のとりこになるはず。

「おめえらい」＝「あなたのところ(家)」

【使用例】おめえらいのねーちゃん、野球はじめだの？
ハロウィンパーティーで仮装すっだどよ

■第7回 ハロウィンタウン in 銚子 開催(詳しくはP6をご覧ください)



使ってみよう
銚子弁

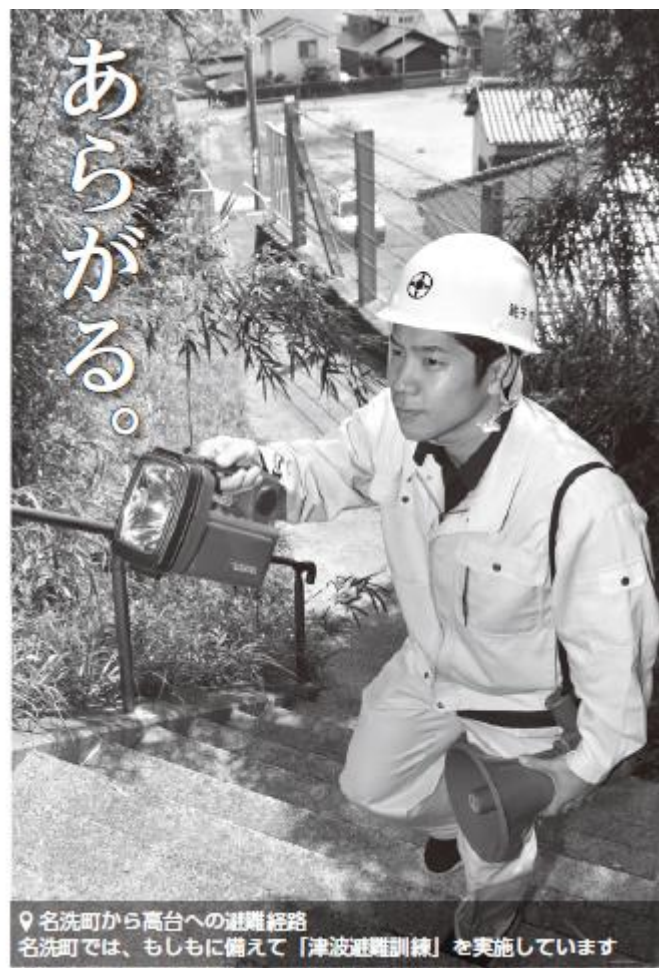
愛すべき銚子弁。
知らない言葉は、家族
や近所のおじさんおば
さんに発音を教えてもら
いましょう。いつの間にか
あなたも便利な銚子弁
のとりこになるはず。

「あらがる」＝「離れる(側を離れる)」

【使用例】地震のときは海がら、あらがっペーや

日ごろから地震に備えよう

- 家具の固定
- 非常用持ち出し品の準備
- 水や食料の備蓄
- 避難所や避難経路の確認



♀名洗町から高台への避難経路
名洗町では、もしもに備えて「津波避難訓練」を実施しています

使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。知らない言葉は、家族や近所のおじさんおばさんに発音を教えてもらいましょう。いつの間にかあなたも便利な銚子弁のとりこになるはず。

「せわしねえ」=「忙しい」

〔使用例〕せわしねえけど、楽しく大掃除すっぺ♡



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。知らない言葉は、家族や近所のおじさんおばさんに発音を教えてもらいましょう。いつの間にかあなたも便利な銚子弁のとりこになるはず。

「ごっつお」=「ごちそう」

〔使用例〕正月だあし、おごっつお食うべえや。



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。知らない言葉は、家族や近所のおじさんおばさんに発音を教えてもらいましょう。いつの間にかあなたも便利な銚子弁のとりこになるはず。

「とろげる」＝「とける」

〔使用例〕とろげっちゃーめえにくわっせえ♥醤油ソフト



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。知らない言葉は、家族や近所のおじさんおばさんに発音を教えてもらいましょう。いつの間にかあなたも便利な銚子弁のとりこになるはず。

「いじぐりこんにゃぐ」＝「いじりまわす」

〔使用例〕おめえらいのねごの可愛いーこどよ！
 いじぐりこんにゃぐしっチャーどえ♥





愛すべき銚子弁。知らない言葉は、家族や近所のおじさんおばさんに発音を教えてもらいましょう。いつの間にかあなたも便利な銚子弁のとりこになるはず。

「おしまいな」＝「夕方（16時ころ）の挨拶」

西部の農家さんで使われることが多い。

もう今日は仕事を終わりにして体を休めてくださいなという気持ちが込められている。

〔使用例〕おしまいな。また明日よー

